

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（営業担当）	・地域の市場環境の変化がほぼ一巡し、今までの基調に比べゆるやかな上昇傾向がみられる。
	やや良くなる	スーパー（企画担当）	・既存店舗の改装や営業時間延長による集客効果が出る。
		コンビニ（店長）	・来客数や単価の動きは少し良くなっており、九州新幹線の工事関係者の利用も期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売台数が増えつつある。
		高級レストラン（経営者）	・4月は選挙があって厳しいが、3か月先は客が動き出す。
		観光型ホテル（スタッフ）	・宴会部門の予約状況は予算・前年比ともに予想を上回るペースで受注しているが、宿泊は先が見えない。
		テーマパーク（職員）	・4月のTVドラマロケに伴うイベントやコンサートによる集客増と、アミューズメント施設のGW期間中の営業による集客増が期待できる。
		住宅販売会社（従業員）	・ローン減税の期限を考えると、そろそろ検討を始めないといけないので動きが出てくる。
	住宅販売会社（従業員）	・資金贈与とローン控除によって、住宅に関しては年内に決めようという動きが出てくる。ただ景気そのものは良くなっていない分、客は時間をかけて検討している。	
	変わらない	商店街（代表者）	・これ以上悪くなる様子もないが、イラク情勢が今後の消費マインドに影響する。
		商店街（代表者）	・卒業、入学、就職等でかなりの出費がかさみ、それを穴埋めするために食費が削られ、消費が落ち込む。また、イラク情勢の影響で株価の下落やガソリンの値上がりが起こっており、ますます厳しくなる。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・うなぎのシーズンを迎えるが、産地表示の問題もあって消費が多少落ちる。
		一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・既存のお得意様であった飲食店が相次いで閉店しており、赤字経営も限界にきている感がある。消費者の外食にける予算が一段と厳しくなっている。
		百貨店（営業担当）	・当店より車で5～10分位のところに売場面積4万㎡の郊外店がオープンしたが、思ったほど影響を受けていない。
百貨店（営業担当）		・春物の立ち上がりは値頃感のある商品を中心に動きがあるものの、今後の社会情勢によっては先行きは不透明である。	
百貨店（売場担当）		・イラク情勢の深刻化によって消費マインドが上向かず、よくて現状維持である。	
スーパー（経営者）		・イラク情勢の長期化による石油等の値上がりによる経費アップに加え、消費の低迷が今後も続く。	
スーパー（店長）		・競合店の出店があり、単価の下落や買い物の選別が進み、非常に厳しい。ただ全体的な消費マインドは横ばいと考えられる。	
スーパー（店長）		・3月は春物の処分期に入るが、例年ならセールで買っていく客が今年は極めて少なくなった。購買意欲が減退しており、この悪さは少々のことでは立ち直らない。	
スーパー（店長）		・イラク情勢が緊迫化して、トイレットペーパー等の動きは良いが、全体的に消費が冷え込んでいる。	
スーパー（総務担当）		・食料品は昨年並みの売上が見込まれるが、衣料品、住居用品は客単価が上がらず、低価格商品がほとんどを占めるようになっている。	
コンビニ（エリア担当）		・あらゆる施策の不調に加え、競合激化でさらに客が減っている。また、低単価商品へのシフトが進んでいる。	
衣料品専門店（経営者）	・国際情勢の影響で製造業などに影響が出てくれば、消費者の購買意欲にも影響が出てくる。		
衣料品専門店（店員）	・高額な輸入品は好調になってきたが、これ以上良くならない。国産の商品は、安いものでいいという価値観の客が増えているので、厳しい状況はしばらく続く。		
家電量販店（経営者）	・現状だと訪問販売で売上を勝ち取るしかないが、2～3か月先にそれ以上売上が伸びる要素が見当たらない。		
家電量販店（店員）	・パソコン販売は新規は見込めずまったく改善する見通しが立たない。2年くらい前のパソコンでも十分使えるということで買い替え需要につながらない。		
家電量販店（総務担当）	・イラク情勢の影響が懸念され、良くなる要因が見当たらない。		

	乗用車販売店（経理担当）	・新型車の投入が依然としてない状況では市場も盛り上がり に欠ける。
	その他小売〔雑貨卸〕 （総務担当）	・3か月先になるとイラク情勢の影響が出てくるだろうが、 それでも変わらない。
	高級レストラン（スタッフ）	・イラク情勢や株安などを見る限り、変わらないというより もわからない。
	一般レストラン（スタッフ）	・100円ショップとか100円均一の回転寿司といった安い店 に客が集中して、客の絶対量が減っている。
	旅行代理店（従業員）	・5月の連休の予約が前年に比べ悪く、非常に厳しい。
	旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の動向によって多少変わるだろうが、まだまだ 厳しい状態が続く。
	タクシー運転手	・旅館、ホテルの客の様子を見ると若い人が多い。卒業旅行 と思うが、今までは海外に行くパターンが多かったが国内に 回っている。イラク情勢によって国内旅行が増え、景気は下 向きでも観光が穴埋めして横ばいである。
	タクシー運転手	・寒い地方でもゴルフができるようになり、客が減る。
	タクシー会社（営業担 当）	・イラク情勢が影響すると考えられるため見通しがきかな い。
	パチンコ店（店員）	・他県からの進出が増えており、営業努力だけでは厳しい状 況になっている。
	競輪場（職員）	・イラク情勢がどの程度影響するかにもよるが、日本経済の 回復がない限り、公営競技の販売量は変わらない。
	美容室（経営者）	・衣替えから客の気持ちも高揚してくると思うが、大きなイ ンパクトのあるイベントでもない限り売上は伸びない。
	住宅販売会社（従業 員）	・雇用問題とかイラク情勢が影響してあまり変わらない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・自転車道10分くらいのところに巨大ショッピングセンター ができたので、中心街の人通りが少なくなる。
	商店街（代表者）	・イラク情勢の影響で米国経済が悪化し、日本の景気もそれ に引きずられて悪くなる。
	商店街（代表者）	・雇用不安、税や医療費の負担増により、企業、消費者とも に財布のひもが固くなる。
	一般小売店〔青果〕 （店長）	・良くなる要素が見つからない上に、医療費負担などの社会 保障問題や失業率の悪化も懸念され、消費は伸び悩む。
	百貨店（営業担当）	・売上を引っ張ってきた婦人服がモデルをしたが芳しくない。 加えて紳士服は依然伸び悩んでいる。デイリーの食品も 好材料が見当たらず下降気味である。
	百貨店（売場担当）	・購買客数、数量が若干ダウンの傾向にあり、3月は下旬く らいから消費が急激に落ち込んでいる。イラク情勢や地元 テーマパークの破たんが影響していると考えられる。
	百貨店（業務担当）	・世界情勢の不安定、株価の低迷、失業率の高止まりに回復 の兆しがなく、その状況を打破できるヒット商品やトレンド の波もない。
	スーパー（店長）	・最大のマイナス材料はイラク情勢である。
	スーパー（店長）	・医療費などの負担増によって、客の消費に対する姿勢がま すます厳しくなる。
	スーパー（店員）	・イラク情勢が緊迫し、石油製品等の値上がりや社会情勢が 不安定になり、購買意欲が失せる。
	スーパー（総務担当）	・選挙のときは購買力がやや落ちるといふ過去の実績があ る。それに加え、今後イラク情勢がどうなるか非常に心配な 面もあり、消費は先行き不透明である。
	スーパー（企画担当）	・景気が上向かない中、石油製品をはじめとして値上がり傾 向があり、客の買い控えが強まり、客単価、客数ともにま すます厳しい状況になる。
	スーパー（経理担当）	・デフレ傾向と競合店対策で客単価がさらに落ちる。人口の 多い都市圏では同業他社も出店攻勢をどんどんかけてくる ため余計に厳しい。
	コンビニ（経営者）	・イラク情勢が直接影響しているわけではないが、心理的に マイナスで、消費行動に盛り上がりを感じられない。
	コンビニ（エリア担 当）	・イラク情勢の緊迫化でガソリンが高騰するなど、今後の状 況が見えないことから客の財布のひもは緩まない。国内の景 気回復策が具体的に見えない限り、厳しい状況は今後も続 く。
	家電量販店（企画担 当）	・イラク情勢の影響もあって先行きが不透明で悪くなる。
	乗用車販売店（従業 員）	・決算月の反動で、4、5月は目標台数も少なく赤字に逆戻 りする懸念がある。

	乗用車販売店（管理担当）	・イラク情勢の影響でガソリンが値上がりし、客の需要を掘り起こす上でマイナスである。
	住関連専門店（経営者）	・イラク情勢の緊張が長期化すれば厳しくなる。また、4月には統一地方選挙があり、選挙の月はなかなか売上が伸びない。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・過当競争が続いており良くなる気配がない。どんなに安定経営してきても、利益計上できる体質があっても、取引先が民事再生法を適用すればこちらもやられてしまうため、先行きは暗い。
	高級レストラン（経営者）	・日によって売上にばらつきがあり、平均して採算ラインに達する日がほとんどない。忙しい時と暇な時との差が大きすぎてトータルでは前年割れが続く。
	高級レストラン（専務）	・イラク情勢の影響でどんどん悪くなるが、旅行客の需要は少し良くなる。
	一般レストラン（経営者）	・これから選挙が控えており、グループの動きが若干弱くなる。カフェでも団体の客が減ってくる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・イラク情勢次第だが、当分は予断を許さない状況である。
	都市型ホテル（副支配人）	・イラク情勢の緊迫が長期化する模様を呈しており、ホテル業界は見通しが暗い。
	旅行代理店（業務担当）	・イラク情勢など漠然とした不安感から旅行に対する支出が後回しにされる。
	通信会社（企画担当）	・大手の競合他社が、企業体力にものを言わせた値下げや無料キャンペーンによる攻勢を強めている。
	通信会社（業務担当）	・現在の最需要期の反動で、携帯電話の販売も新規契約だけでなく機種変更も落ち込む。カメラ付携帯電話の人気も一段落し、新機能を搭載した商品の発売も予定されているが、さらなる需要の掘り起こしにはつながらない。
	通信会社（管理担当）	・入社、入学のシーズンで景気回復が期待できる時期だが、イラク情勢の影響に加え、補正予算がどうなるかはっきりしないためあまり期待できない。
	ゴルフ場（従業員）	・営業努力をしても客が増える見込みがない。
	ゴルフ場（支配人）	・イラク情勢や公共事業削減等の政策の動きを考えると少し悪くなる。
	設計事務所（職員）	・なかなか契約までたどり着けない。
悪くなる	商店街（代表者）	・イラク情勢の影響で海外旅行を含めて旅行者の数が減る。なかでもトラベル用品が停滞する。
	商店街（代表者）	・イラク情勢の緊張が長期化することが考えられ、将来不安や経済政策への不安から消費マインドはますます冷え込む。
	百貨店（売場主任）	・客単価の低下傾向はまだ強くなる。今後は医療費負担増などが控えており、消費マインドが冷え込む。
	百貨店（営業担当）	・イラク情勢の緊張が長期化する恐れから米国経済の動きが落ち込み、それに伴って日本経済も厳しくなる。個人では、可処分所得を消費に充てる割合も大きく落ちる。
	百貨店（販売促進担当）	・株価の低迷やイラク情勢の緊迫が長期化する恐れから客の動向が読めない。
	スーパー（店長）	・イラク情勢の影響で石油製品の値段が上がるので、消費者の財布のひもが今以上にきつくなり、買い控えが強まる。
	衣料品専門店（店長）	・選挙があると田舎は人の動きが活発になるので、来街者も増える。しかし、イラク情勢に関しては既にガソリンが値を上げるなど、まだまだ悪くなる。
	衣料品専門店（店長）	・イラク情勢等の社会不安で、買物どころではないという気持ちで消費者が起こる。自分自身も買物の数が減っている。
	衣料品専門店（総務担当）	・イラク情勢の緊迫化で東南アジアからの旅行者が減り、テーマパークがさらに落ち込みそうである。その影響で街全体が暗くなり、消費マインドに悪影響を及ぼす懸念がある。
	スナック（経営者）	・昨年の6月に客が激減してから10か月間、預金や保険の解約、商工会議所からの借り入れで努力をしてきたが、このまま続けても回復が見込めないで6月末を持って閉店することになった。24年間頑張ってきたが、こんなことでやめることになるとは悔しい限りである。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	建設業（総務担当） ・昨年悪かった反動で、新規案件が増えてきた。見積り案件が多くなり、受注のチャンスが増えてきた。

変わらない	食料品製造業（経営者）	・観光に依存している納入先が大部分であるため、観光動向に業績が左右されやすい。そのためイラク情勢が国内旅行にどの程度影響を及ぼすかがポイントになるが、予測が困難な上に南九州の観光は依然低迷しており、今後も観光客を動員できる要素は見当たらない。	
	金属製品製造業（企画担当）	・資材調達価格の値上げ圧力を受けている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体や液晶関連の金型部品は全体的に動きが出てきたと同時に、納期の面でも多少余裕が出ており、少し良くなる。	
	広告代理店（従業員）	・新聞折込チラシの受注量は低調なまま推移している。折込件数の増減を判断の基準にしているが、取引先からは件数を増やす話が出てこない。	
	広告代理店（従業員）	・依然厳しい状況が続いているが、良い企画物であればクライアントは関心を示している。	
	その他サービス業〔物産リース〕（従業員）	・イラク情勢の早期決着が図られても、すぐに景気が回復するとは思えない。	
	やや悪くなる	食料品製造業（専務）	・イラク情勢の不安や統一地方選挙といった理由から人や物の動きが控えめになる。
家具製造業（従業員）		・イラク情勢も緊張の度合いを高めているし、東京の大型物件が終わって新しい物件情報が少ない。九州では大型物件の話もなく、良くなる要因がない。	
窯業・土石製品製造業（経営者）		・最大の需要期である3月の悪い状態からしてもっと悪くなる。小売店も量販店も焼き物は売れていないと言っている。	
窯業・土石製品製造業（経営者）		・イラク情勢の影響で石油が高騰し、金融機関等も株価下落によって厳しくなる。イラク情勢の緊張が長期化すれば米国経済が悪化し、日本も引きずられて悪くなる。	
鉄鋼業（総務担当）		・イラク情勢の緊迫に加え、株価の下落も大きい。	
一般機械器具製造業（経営者）		・イラク情勢の動向が気がかりである。石油価格の高騰で、自動車関連も厳しくなる。そうすれば生産の海外シフトが加速したり、値引き要請が厳しくなる。	
輸送用機械器具製造業（経営者）		・客からの要請はコスト・品質・納期全てにおいて厳しくなっている。	
輸送用機械器具製造業（営業担当）		・海外生産されたものに押されて、3月はどうにか稼働する仕事があったが、将来的には非常に少なくなる。	
輸送業（従業員）		・新規の客が入るとか既存の取扱量が増えるという話はなく、値下げや取扱量を減らすという話が多い。	
輸送業（総務担当）		・輸出が少し減っており、イラク情勢の緊迫が長引くと出荷量は減ったままになる。	
通信業（経理担当）		・イラク情勢の決着にかかっているが、緊張が長引きそうなので悪くなる。	
悪くなる		不動産業（従業員）	・オフィスビルの賃料下落傾向が新築ビルにまで広がっている。
	経営コンサルタント	・年々悪くなっており、今後急激に回復することはない。イラク情勢の早期解決が図られ、気分的に明るさが出れば若干持ち直す可能性はある。	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・短期的には派遣依頼が増えて好転しているように見えるが、長期的には不安定要素が多く、回復基調とはいえない。
		人材派遣会社（社員）	・新入社員の採用の枠も少なく、雇用の拡大になる要因が見当たらない。派遣料金の支払い条件等の改定、請求の改定を申し出ても、雇用の安定を優先させるために賃金据え置き、賃下げのムードが感じられる。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・イラク情勢が消費にどう影響するか各社とも見通せない状況にある。そのため、5月は博多どんたくを中心に毎年、臨時雇用が増えるが、現在の情勢であれば臨時の雇用も慎重になると懸念される。
		職業安定所（職員）	・新規求人倍率が3か月連続で下降傾向にある。また新規求職者数も4か月連続で増加しており歯止めがかからない。
		民間職業紹介機関（職員）	・求人を受けてはいるが一時的なものである。企業としては即戦力は欲しいがリスクのある採用は控えようとしている。
		民間職業紹介機関（支店長）	・企業側の採用姿勢は、ますます厳しくなる。一方同業他社との競争が一層熾烈になっている。
	悪くなる	新聞社〔求人広告〕	・悪くなるというよりもわからない。失業率や有効求人倍率は改善の兆しがあるが、イラク情勢次第で落ち込むことも考えられる。